

チャペル週報

No.13

2019.7.8 ~ 7.18

あなたがたは神に愛されている子供ですから、
神に倣う者となりなさい。

(エフェソの信徒への手紙 5章1節)



ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 7月8日(月) 神 鄭 詩温(神学研究科M1)
経 異文化との出会い④ Timothy O. Benedict(宣教師)
人 田淵 結(関西学院大学名誉教授)
理 前川 裕(宗教主事)
聖和 聖書物語「わたしはよい羊かい」
-
- 7月9日(火) 神 嶺重 淑(人間福祉学部宗教主事)
文 春学期チャペルパーティー
社 よりよい社会とは⑤ Timothy O. Benedict(宣教師)
法 大宮 有博(宗教主事)
経 経済と人間(最終回) 白井 洸志(経済学部准教授)
商 赤木 敏之(関西学院幼稚園園長)
国 夏期休業をむかえるあたって 児島 幸治(国際学部教授・副学部長)
理 ALL讃美歌プログラム(1)
総 田中 郷史(日本キリスト教団 吹田教会牧師)
教 岡本 哲雄(教育学部副学部長)
-

- 7月10日(水) 神 西アフリカニジェール共和国賛美チームによる礼拝
社 よりよい社会とは⑥ 打樋 啓史(宗教主事)
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
商 Chapel in English Andrea Cilloni(商学部・海外客員教員)
人 大宮 有博(法学部宗教主事)
理 ALL讃美歌プログラム(2)
総 村瀬 義史(宗教主事)
教 梶原 直美(宗教主事)
-

- 7月11日(木) 神 「震災を覚えて」⑦ 神学部メガホンプロジェクト
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 学期末にあたって 難波 功士(社会学部長)
法 大宮 有博(宗教主事)
経 学期末を迎えて・夏休みを前に 井上 智(宗教センター宗教主事)
商 Chapel in English Christian Triebel(神学部助教)
国 Chapel in English Eun Ja Lee(宣教師)
総 村瀬 義史(宗教主事)
聖和 福島 旭(中学部宗教主事)
-

- 7月12日(金) 院 上田 和彦(言語コミュニケーション研究科委員長)
神 クリスチャンとしての私⑧ 中道 基夫(神学部長)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 経済学と聖書⑨ 井口 泰(経済学部教授)
人 小田部 進一(神学部教授)
理 ALL讃美歌プログラム(3)
-

- 7月15日(月) 神 説教演習A 劉 加貝(神学研究科M1)
経 井上 智(宗教センター宗教主事)
人 大和 三重(人間福祉学部長)
理 ALL讃美歌プログラム(4)
聖和 聖書物語「ダニエル、こわい夜をすごす」
-

- 7月18日(木) 聖和 聖和JAZZ礼拝 / 竹中 真(ジャズピアニスト)
-

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
7月12日(金) 聖和短期大学のために 千葉 武夫(聖和短期大学学長)

逆さま世界

加藤 知

久方ぶりに逆立ちをしてみた。シャガールの「逆さま世界のヴァイオリン弾き」を見たせいだ。ひっくり返った家の上で椅子に座って優雅にヴァイオリンを弾いている男の絵に刺激されて、いつもとは違った視点で世界を見てみたくなった。逆立ちした途端、私の部屋は確かに逆さまにはなったが、それどころではない。怒った血が逆流して頭に激しく下ってくるのを感じて、10秒で元の世界へ逆戻り。重力の存在を思い知った瞬間であった。

何でも実際やってみると、しばしば期待していたものとは違った結果になる。予想外の新たな発見もあつたりする。平静に考え直してみると、逆立ちなどしなくても自分は「逆さま世界」にいることに気がついた。星の王子様の住む小さな星の絵が頭に浮かぶ。地球の裏側の家は皆逆さま、花も皆逆さまに咲いている。気象衛星ひまわりが撮った宇宙空間に浮遊する地球の写真には、本来上も下もない。シャガールの「逆さま世界」そのものだ。上下を意識するのは、地表面に生息する人にはたらく重力がもたらしたものだ。重力がなければ、上も下もない。そう考えると、人間社会にはびこる上下関係の元をたどれば、重力に行きつくのではないかと思えてくる。文字通りグローバル（地球的）にものごとをみれば、上も下もない平等世界である。グローバル化の目指すところは、こういうことかと妙に納得してしまった。

逆立ちしてみたら、ずっと昔に訪ねた外国のコインが、ひっくり返したさいふから出てきたようだ。ずっとそこにあっただけけれど、ずっとわすれていた。私たちの中には、以前に学んだことがいっぱい詰まっているが、ときどきゆすぶってやらないと出てこない。逆さにして出てきたら、見慣れた地球は逆さま世界であった。こころの底に沈んでいる知識にたましいを吹き込むには、ちょっとした刺激と想像力が必要だ。刺激は重力に縛られた身体に、想像力は重力を知らないところに作用する。

逆立ちをしたぐらいで、身に沁み込んだ常識が簡単にひっくり返ったりしないが、あれこれこころに思いつくごとくは与えてくれる。もうすぐ夏休みがやって来る。普段しない逆立ちをしてみるのもよいかも知れない。

(副学長・理工学部教授)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50~18:20 1405教室)

7月主題:「聖書は人生をどう見ているか」

7月11日(木) 井上 智(宗教センター宗教主事)

7月18日(木) Christian Morimoto Hermansen(宣教師)

●オルガン音楽の泉 2019 Spring semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第33回 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

と き: 7月10日(水) 12:50~13:20[開場12:40予定]

ところ: 関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催: 宗教センター

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも(クリスチャンでなくても)参加できますのでどうぞお越しください。

7月14日(日) 10:00~11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●第217回ランバス演奏会 リコーダー・アンサンブル「レアル」リサイタル

「レアル」は1997年に関西学院大学応援団総部吹奏楽部OB・OGを中心に結成。

ランバス演奏会への出演は22回目を迎えました。バロック音楽を中心に古楽からジャズに至るまで幅広いジャンルの音楽をレパートリーに活動しています。

と き: 9月26日(木) 17:30開演

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

●秋の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間: 9月30日(月)~10月4日(金)

受付場所: 吉岡記念館ラウンジ

主 催: 宗教総部献血実行委員会

●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち51人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、ランバス記念礼拝堂に入ったことのない方などお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き: 10月5日(土) 10:00~16:00(予定)

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

指導者: 太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催: 宗教センター <入場無料>

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のチャペルスケジュールのほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者のお人柄や読者へのメッセージに触れることが出来る場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。

秋学期の発行は9月20日(金)からです。よい夏休みを!